

市イメージキャラクター



Studio Ghibli
こまちゃん

小金井 2014.11/1 No.439 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

成人学校 「伊勢物語を味わう」 本館

「伊勢物語」の概要を知り、二条の後(きさき)、東下り(あづまくだり)、伊勢の斎宮などを中心に学びます。また、伊勢物語を源氏物語との関わりを通じて、深く考察します。

とき 12月1・8・15日 いずれも月曜日
午後1時30分～3時30分(全3回)

ところ 公民館本館

講師 山田ただしさん(奥の細道を読む会講師)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 60人(申込順)

参加費 無料

申込 11月17日から、電話または直接、公民館本館
(☎042-383-1184)へ。

市民講座 「杉文(すぎ・ふみ)の生涯」 ～兄と夫を助けて動乱の維新を 乗り切った松蔭の妹～ 本町分館

来年の大河ドラマの主人公である吉田松蔭の妹・杉文の生涯について学んでみませんか。

日程・内容

	日程	内容
1	12/4	兄の薫陶を受けた少女時代の文
2	12/11	再婚の相手はなんと姉

いずれも木曜日 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 山岡 昭さん(歴史研究家)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

参加費 無料

申込 11月17日から、電話または直接、
公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。

～公民館本町分館 一時休館のお知らせ～

平成27年1月4日(日)～2月28日(土)まで、公民館本町分館はトイレ等改修工事により、一時休館いたします。ご利用の方々には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

詳細は、公民館本町分館(☎042-383-1170)までお問い合わせください。



子ども体験講座 「クリスマスリース作り」 本館

自然にある素材を使った自分だけの手作りリースで、クリスマスを演出してみませんか？ ぜひ、ご参加ください。

とき 12月6日(土) 午前9時30分～11時30分

ところ 公民館本館

講師 武部 令さん、大石征夫さん
(いずれも森林インストラクター)

対象 市内在住の小・中学生と保護者
(小学校3年生以上は子どものみの参加も可)

定員 25人(申込順)

参加費 500円(材料費)

申込 11月17日から、電話または直接、
公民館本館(☎042-383-1184)へ。



成人学校 「葬儀と生前準備 ～自分のこと 家族のこと考えていますか～」 本町分館

自分が、家族が、最期を迎える時、どう動いたらよいか、葬儀の流れを知り、準備できることを考えましょう。

とき 12月5・12日 いずれも金曜日

午前10時～正午(全2回)

ところ 公民館本町分館

講師 是枝嗣人さん(葬儀会社代表)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

参加費 無料

申込 11月17日から、電話または直接、
公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。



市民講座 「川崎平右衛門による玉川上水 および多摩川の治水工事」 本町分館

市内を流れる玉川上水の歴史について学習しませんか。

とき 12月3日(水) 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 野田政和さん(地方史研究協議会会員、元府中市立府中第七小学校校長)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順)

参加費 無料

申込 11月17日から、電話または直接、
公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。

成人大学講座 「自然と共に生きる 先端科学」報告 緑分館

毎年、緑分館と国立大学法人東京農工大学が開催している成人大学講座が今年も9月13日(土)～27日(土)の全3回の日程で開催されました。

今年は農学部の方に「自然と共に生きる先端科学」というテーマで、食品、感染症、ウイルスと私たちの身近な話題でお話をいただきました。



受講生の感想を一部ご紹介します。

- 食に関する化学的な合成物が多いので、これからの食生活に憂いていましたが、先生の研究を聞いて希望が見えるような気がします。
- メディアを通じて耳に入ってきてはいても、その内容を知り、理解するための機会がありませんでしたが、今回の講座で、専門的分野の先生からお話を聞き、知り得なかった世界に触れることができ、大変有効な情報に触れることができました。
- 理系の知識が少ない中で専門的なことが学べる良い機会でした。今後とも楽しみにしています。
- 多少専門的なところもありましたが、また受講できる機会がありましたら、受講したいと思います。

市民講座 「高島嘉右衛門の生涯」報告 本町分館

鉄道敷設のため、横浜港の埋め立て事業や日本で最初にガス灯を設置するなど、偉業を成し遂げた実業家高島嘉右衛門の生涯について学習しました。

講師に、歴史研究家の村瀬彰吾さんを迎え、9月18日に開催しました。

嘉右衛門は、高島易断の創始者としては知られていますが、横浜の発展に寄与したことはあまり知られていないようです。これだけの偉業を成し遂げた人にもかかわらず歴史上にはあまり登場しないのは易断(占い)の関係があったのではないかと思います。



何故でしょうか……。このことについては高島易断のすごさをお調べになればお分かりになるのではないかと思います。是非、調べてみてください。

成人学校 「樹木ウォッチング」報告 貫井南分館

9月13日(土)から27日(土)の3回で、座学と野外観察を行いました。この講座は、自然が多い小金井を身近に感じてもらうことを目的としました。講師は貫井南分館近くにお住まいの森林インストラクター・大石征夫(ゆきお)先生。

初日は貫井南分館での座学「樹木の特徴と見分け方」、葉や木の実のサンプルを見たり、触り、臭いを嗅いだりして知識を深めました。



翌週20日は市の北側、小金井公園から出発して市内の樹木、27日には野川公園内での観察となりました。



葉を揉んで匂いを嗅いだり、木の実を食べてみたり、先生が持参した木の枝(ニガキ)を噛んで苦い味を味わったりと五感で感じる講座となりました。変わったところでは、ドングリに卵を産む虫の話など、初秋の季節を感じながら終えることができました。参加者からは、「樹木がそれぞれ自然の中で、色々関わっていることに感動しました。」



「市内の樹木の多さを始めて知った。今後も自然に親しむ企画をお願いします。」などのご意見をいただきました。

●月刊こうみんかん からのお知らせ●

毎月1日発行の月刊こうみんかんは、小金井市のホームページ上にて月刊こうみんかんカラー版を掲載しています。どうぞ、ご利用ください。

アクセス方法

小金井市ホームページ→「各課のページはこちらから」→「生涯学習課」→「公民館」→「月刊こうみんかん」を開いてください。

高齢者学級 けやき学級野外学習 「川越&遠山記念館を訪ねて」 貫井南分館

9月10日・17日(水)に野外学習として川越市立博物館、川越城本丸御殿と遠山記念館(川島町)へ行ってきました。川越市立博物館では、小江戸と呼ばれる川越の歴史と重厚な土蔵造りの工法について解説をガイドの方から受けました。

川越へ行ったことのある方はご存知のとおり、黒塗りの土蔵造りの店舗と時の鐘が有名です。明治の大火で街の3分の1を焼失した中で、土蔵造りの建物が残りました。そこで日本橋の黒塗りの土蔵づくりが「粋」だということで黒塗りの土蔵建築を取り入れたそうです。

当時、川越は河川と川越街道で物資の集積地として栄え、商人は豪商が多く、一軒建て



るのに今のお金で約3億円かけたそうです。現存の川越城本丸御殿は、明治以降、城は移築、解体された後に川越に県庁が置かれた際に庁舎として利用され、戦後は中学校の仮校舎など経過後、昭和42年に本丸御殿改修工事を行っています。

昼食は川島名物「夏のすったて」に舌鼓を打ちました。キュウリ、大葉、みょうが、胡麻などをすりつぶし、だし汁に味噌をといて、うどんをつけて食べる川島町の昔からの健康食です。

昼食後は、日興証券の創設者・遠山元一(明治23年～昭和47年)が幼少期に没落した生家を再興し、苦労した母の住まいのために建てた邸宅を見学しました。

この邸宅は、東棟(豪農の趣・約63坪)、中棟(客の接待・約87坪)、西棟(落ち着いた京風・約61坪)あり、東棟から入ると西棟まで約100メートルあるそうです。

西棟に着くと自分はどこにいるのか分からなくなる位広いものとなっています。

昭和8年から約3年間かけて完成、建築部材は全国各地から銘木を使い、ガラスはアメリカ特注の物、給湯設備ほかいろいろ、ガイドの方の説明を聞くだけで「は～」と溜息が出るばかりでした。



私の散歩道

せみの鳴き声が収まりつつあり、日が落ちる頃になるとバトンタッチするように秋の虫が盛大に鳴き始めた。

だいぶ涼しくなったので、蒸し暑いと感じようになつたあたりから疎かになっていた散歩を再開しようと思ひ立った。

いい環境は人を怠惰にすると言うが、散歩にぴったりの緑豊かな小金井公園と玉川上水が近い場所に住まい健康の為の散歩を誓うも、日に日に億劫になり何度三日坊主になったことやら。

久々に重い腰をあげての玉川上水の歩道沿いは面白い。色々な草花を見ながら歩けるのがいい。

植物の知識は多いものではないが、知っているものに出くわすと楽しい気分になる。

前の散歩の頃は、夏前。タチアオイがによきによきと背を伸ばして天を目指す様子に、てっぺんの花が咲いたら夏になるという話を聞いたことを思い出し、そろそろだろうか、今日は咲いたかどうかと観察がてら歩いた。カラスが遊んでいるのか手が届かないほど育っている一番大きなタチアオイのてっぺんが、ある朝花咲く前にぽっきりと折れているのを見たときのがっくりさはひどく大きかった。

今はすっかりと顔ぶれが変わり、ひざ程のあたりに真っ赤な曼珠沙華がちらほらと顔を出している。毒々しい色合いながら儂いこの花を見るのが秋の楽しみのひとつだ。どうにかうちの庭に一株きてくれないだろうか、と思ひながら葉のない茎がによきによきと伸び、つぼみが出始めるのを見つけてからは満開になる日を待ちわびて毎日顔を出して眺める。

道沿いに桜の葉が落ちはじめたら今度は寒いから散歩は取りやめだろうか、次は桜のつぼみが膨らむ頃になるだろうか。

一日何分歩くという目標もいいが、こういう楽しみがてらの散歩も楽しいものです。皆さんも是非に。

(桜町在住 T・M)



月刊こうみんかん 市民投稿の話題を募集!

●「心に残った一冊・名画・音楽」

あなたのおきのお勧めを思い出や感想と共に掲載してみませんか?

●「地域を歩く」「私の散歩道」

身の回りにあるちょっとした、誰かに伝えたい風景を文章にして紹介してみませんか?

問合せ先 公民館本館

(〒184-0012 小金井市中町4-15-14)





☎042-383-1184 FAX042-387-1226

✉k020499@koganei-shi.jp



◆ 11月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
	☆成人学校 「心温まる手書きの年賀状」 ☆国際交流事業 「住んでみてもわかるスリランカ」 市報11月1日号に詳細				☆若者コーナー 「きたまちゼミ」 「レッツクワイ！公民館」 ☆市民講座 「四季の花づくり」 市報11月15日号に詳細

サークル紹介

「いづみ短歌会」

東分館

当会は、故若宮貞次先生のご指導の下、約23年間続いている短歌の会です。

会の性質は万葉集を称揚しアララギの流れをくみ正岡子規以来の写実の歌、生活に即した真情の歌をめざしています。活動としては、毎月の例会において著名な歌人の作品の鑑賞と会員の皆さんの作品を相互に歌評しています。

さらに、若宮先生がご指導された他の歌会と連合して、短歌雑誌『あかね』を隔月で発行しています。

現在の会員は17名ですが、先年刊行の『あかね30周年記念合同歌集』に作品を寄せた方は125名でした。

短歌は素人のどなたにも作れますし、歌会に参加することは実に楽しいものです。一度親しむとみなさん永く続けておられます。

中には95歳という方もいらっしゃいます。斯く云う執筆も短歌はおろか文学方面には無縁の者でしたが短歌に親しみ仲間に出会えて幸せと思っています。

ぜひ一度、歌会の見学にいらしてください。



活動同時：原則月1回第3土曜日13時～16時頃

場所：東分館、他

会費：年間2,000円

連絡先：森泉昭子 (☎042-232-6937)

編集後記

産休・育休明け初めての編集後記となりました。休暇中は、初めての育児で悪戦苦闘する日々を過ごしました。現在は、子供も1歳を迎え、少し落ち着いた感じがします。復帰前には、待機児童の問題などにも直面し、子育ての厳しい環境を痛感しました。今後、講座等をとおして、子育て世代の方々に少しでも協力することができればいいなと思います。(本町分館R)

小金井旬菜

「江戸野菜に親しもう(野外研修)」

貫井南分館

成人学校「江戸野菜に親しもう」は、1年を通して開催される、公民館の講座としては最も長い講座です。

野菜の共同栽培を行う農作業中心の教室であるため、受講者の親睦と学習を目的に、春・秋に年2回の野外研修と毎年9月の下旬に山梨県小菅村でNPO法人「自然文化誌研究会」が栽培している雑穀畑を訪問しています。

今回は、9月29日に実施した小菅村訪問について、紹介します。

この野外研修は、江戸時代、主食としていたであろう雑穀の栽培をしている小菅村を訪ね、現代社会の食生活を考える(元東京学芸大学木俣教授が、小菅村で雑穀を栽培している。)ことを目的として、毎年9月の下旬に実施しています。

この雑穀畑には、「粟(あわ)」「稗(ひえ)」「黍(きび)」等の栽培をしています。

今回は、毎年この時期に収穫される「粟(あわ)」「黍(きび)」の収穫が、この夏の天候不順により、収穫ができなかったのが残念ですが、昨年度までこの講座の顧問をしていただいた、木俣先生の講義を聞き、雑穀の知識を深めました。その後、畑に隣接する「小菅の湯」を堪能した受講生の皆さんは、次週から再び始まる農作業に、弾みをつけることができました。



ITサポートセンター こがねいパソコン相談室

インターネットやメールの仕方などパソコンに関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

時間 毎週日曜日と水曜日の午後1時から3時まで

場所 公民館本館・本町分館・貫井南分館・東分館・緑分館・貫井北分館

費用 無料

対象 市内在住・在勤・在学の方

問合先 公民館本館 (☎042-383-1184)